

地域社会とつながる ピクテ・ミライ・プロジェクト

210余年の歴史を持つピクテ・グループは、
経営理念の中核にある「サステナビリティ」のもと、
さまざまな形で地域社会への還元に努めて参りました。

ピクテ・ミライ・プロジェクトは寄付を通じて日本の地域社会に還元し、
日本のサステナブルな未来に貢献する取り組みです。
ピクテ・ジャパンが受取る収益（信託報酬）の一部を、
対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて配分し、
46道府県^注の地域再生計画に基づく事業に寄付します。



当プロジェクトの
主な寄付のテーマ



環境



教育



栄養



福祉



防災・復興

2022年度
寄付先事業例
長野県



流域治水推進事業。
流域における雨水貯留等の取組に活用

近年、気候変動により全国的に豪雨が増加し、長野県でも甚大な水害が発生している。今後も、気候変動の影響によりさらなる水害リスクの増大が見込まれるため、流域のあらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」への転換が必要である。長野県では「長野県流域治水推進計画」を策定し、流域における雨水貯留タンクの設置、県民への普及啓発、河川整備等に取り組んでいる。

寄付先事業例のイメージ



長野保健福祉事務所へのタンク設置状況



普及啓発活動（シンポジウム開催）



河川改修工事後

※上記はあくまでも寄付先事業例のイメージであり、実際とは異なる場合があります。

皆様の温かいご支援のおかげで、対象ファンドの金融機関における販売のお取扱いは全国各地に広がりました。

その結果、全国46道府県への寄付が実現可能となりましたことを心より御礼申し上げます。今後も長きにわたって共に歩んできたネットワークを通じて、地域の皆様にファンド等を通じた、持続可能な社会に向けての取組みを継続してまいります。

対象ファンド等の詳細は、こちらをご覧ください。

